日本地域学会ニューズレター

平成 29 年 no.1

T-14)	23 + 110. 1			## 00 F 0 F	7 45	- H
	目		次	平成 29 年 2 月	3 17	(日
Ι.	会長挨拶					2
Π.	役員人事等					3
Ⅲ.	第 54 回日本地域学会年次大会(平成 論文報告の募集、シンポジウムにつ		10月 6~8 日)のご案に	力		6
IV.	総会報告 新潟大学で開催された日本地域学会総会	会につい	いての報告			7
V.	理事会報告 平成 28 年度第 11-15 回及び平成 29・30	0 年期新	新理事会			9
VI.	委員会報告 1. 優秀発表賞選考委員会(受賞者の紹 2. 機関誌編集委員会(第55回につい		告)		••	11
VII.	会費納入のお願い 平成 29 年度会費請求額、会費早期納	入の特	典、Web 会員について		••	12
VIII.	『地域学研究』47 巻以降の発行号数	女につい	いて		••	14
IX.	国際地域学会関連会議のお知らせ					14
Χ.	学会賞候補者推薦の募集				••	14
XI.	会員の移動				••	15
	『地域学研究』バックナンバー申込 正会員入会申込書	書				18 19

注意:平成29年度会費請求書が同封されています。

(納入期限 平成29年3月末日)

I. 会長挨拶

日本地域学会会長 細江守紀

昨年12月25日日本地域学会の新理事会におきましてはからずも新理事の皆様のご推挙により日本地域学会会長を務めさせていただくことになりました。本学会員になりましてまだ日が浅く、これまで本学会に対して十分な貢献をしてきておりませんが、副会長の萩原清子先生、高橋秀悦先生、松本昭夫先生および新理事の先生方のご協力を賜り、日本地域学会の一層の発展に尽力してまいりたいと思います。また、前会長の氷鉋揚四郎先生にはこれまで学会の発展に多大なご貢献をしていただいたところですが、引き続き企画担当理事として学会の運営に携わっていただくことになりました。

日本地域学会は国際地域学会(The Regional Science Association International: RSAI)の構成学会として、既に40年以上にわたる国際的な活動を進め、国際的に高い評価を受けています。このたび、あらたな国際的活動の一環としてEditor-in-Chief氷鉋先生のもとで国際ジャーナル "Asia-Pacific Journal of Regional Science (ASJRS)"を Springer から刊行することになり、初巻号が特集 "Perspectives on Spatial Dynamics: Cities, Culture and Environment"として今年4月に刊行予定となっています。海外の研究者との交流そして会員の方々の一層の国際研究への支援のプラットフォームとして期待されているところです。

さて、大統領選挙期間中、様々な規格外の言動や言説で世間を騒がせていたD.トランプ氏が本年1月米国の大統領に就任し、TPPからの脱退、NAFTAの再交渉、個別の企業への介入、特定諸国からの入国の一時的禁止、そして対米貿易黒字諸国への為替安批判など、前例のない乱暴な政治手法をつかって矢継早に"アメリカ第一主義"に向かって突き進もうとしています。第二次大戦以後築いてきた国際政治や国際貿易のデフォルトがあらためて交渉のカー

ドになりつつあるようです。米国との同盟のな かで国際政治そして国際貿易の環境を構築して きた日本にとってはかなり深刻な事態となると 思われます。トランプ氏の保護貿易主義そして 2国間交渉主義は、短期的な成果があがるとし ても、中長期的には自国経済の劣化をみること はこれまでの経済学、そして大方の論者が主張 してきたところであり、合理的な判断では疑問 だらけです。しかし、合理的な判断で世界の諸 国が動いてきたかというと必ずしもそうではな いことは歴史が示している通りです。楽観的な 進歩主義は旗色がわるくなっています。また、 英国のEU離脱は移民・難民問題と自己決定要 求が推進要因であるといわれていますが、トラ ンプ現象と同様に、グローバル化でその利益を 得てないと感じている人々のなかで自己回復運 動が生じているといっていいでしょう。こうし た問題を深層から解明していくのが経済学、そ して地域研究の研究者の喫緊の課題です。

私の主要研究分野は公共政策、法と経済学、 そしてゲーム理論でありますが、地域研究とし てこの10年来、分離(secession)と統合 (integration) の研究を進めてきました。これ はソ連の崩壊、EUの統合と分離、国際経済連 携の推移、そして国の分離を巡る紛争を研究す るものです。現在、中東、アフリカ、ロシア周 辺、そしてアジアでもこの分離と統合の動きが 深刻な事態を引き起こしています。この研究を 進めるためには、経済学、政治学、法学、心理 学そして地域科学の総合的知見が必要です。こ のテーマは現在のトランプ政権誕生に関連した 問題と極めて密接につながっています。地域科 学の研究者の間にも、この分離と統合の問題が 現在の大きな課題であるという認識が広がって います。 Special Session on Walled Territories for the ERSA Congress 2017 の企画趣旨にもつ ぎの文章が書かれています。

"The perspectives of a more Walled World are coming with the reaction to migrants and the territorial conflicts over natural and strategic resources. The impacts on human welfare and regional development of those walls are long and pervasive, constraining the freedom of people and places. The point we want to make is that regional scientists should think about it to produce sound research that can inform better gestures and attitudes."

今度の ASJRS の第2号はこうした現代の状況に呼応する形で "Economic Analysis of Law, Politics, and Regions" を特集として企画されており、現在投稿を呼びかけています。海外の研究者、そして会員の皆様の投稿を期待しています。

日本地域学会は世界の地域学会との交流をつうじて広範な研究者ネットワークを築いてきましたが、ASJRS の刊行はアジア・太平洋地域の研究者との緊密な連携を可能にすることでしょう。このことは、日本地域学会の会員にとって一層魅力的な研究の場を提供するになり、ひいては新たな研究者の方々の入会の呼び水として期待されます。日本地域学会は広範な活動分野へ学会の翼を広げて、他の学会に見られない魅力を持っています。会長の役目といたしましては、この方向をしっかりすすめ、そのために学会発展の基礎をゆるぎないものにしていくことだと思っています。日本地域学会の今後の発展のために微力ではありますが貢献していきたいと思います。

以上、簡単ではありますが、皆様へのご挨拶とさせていただきます。

Ⅱ. 役員人事等

平成 29・30 年期日本地域学会事務局,各種委員会等の構成及び交代についてお知らせいたします。

1. 日本地域学会事務局 会長 細江 守紀(熊本学園大学) 副会長

高橋 秀悦 (東北学院大学)

萩原 清子 (佛教大学)

松本 昭夫 (中央大学)

総務担当常任理事 (事務局長)

水野谷 剛(筑波大学)

財務担当常任理事

櫻井 一宏(立正大学)

庶務担当常任理事

渋澤 博幸(豊橋技術科学大学)

理事

浅見 泰司 (東京大学)

阿部 宏史(岡山大学)

石橋 健一(名古屋産業大学)

内田 晋(茨城大学)(APJRS 担当)

岡村 誠(学習院大学)

鐘ヶ江 秀彦 (立命館大学)

木南 莉莉 (新潟大学)

國光 洋二 (農業·食品産業技術総合研究機構)

近藤 光男 (徳島大学)

齋藤 参郎 (福岡大学)

佐々木 啓介(東洋大学)

鈴木 聡士 (北海学園大学)

多和田 眞 (愛知学院大学)

徳永 澄憲 (麗澤大学)

戸田 常一 (広島大学)

中山 惠子(中京大学)

野崎 謙二 (駿河台大学)

氷鉋 揚四郎 (筑波大学) (企画担当)

福井 秀夫(政策研究大学院大学)

三友 仁志(早稲田大学)

宮田 譲(豊橋技術科学大学)

柳原 光芳 (名古屋大学)

吉田 登(和歌山大学)

監事

薮田雅弘 (中央大学)

栫井昌邦(福岡大学)

名誉理事

河野博忠(筑波大学名誉教授)

酒井泰弘(筑波大学名誉教授、滋賀大学名誉教 授)

臼井功 (横浜国立大学名誉教授)

原 勲(北星学園大学名誉教授)

加賀屋誠一(北海道大学名誉教授)

藤岡 明房(立正大学)

三橋 博巳(日本大学)

第 54 回 (2017年) 年次大会準備委員会及び実 行委員会

委員長: 鐘ヶ江 秀彦(前出)

副委員長:豊田 祐輔(立命館大学)

学術委員会

委員長: 藪田 雅弘(前出)

副委員長: 水野谷 剛(前出)

副委員長: 鐘ヶ江 秀彦(前出)

広報委員会

委員長: 水野谷 剛(前出)

副委員長:石橋 健一(前出)

副委員長:黛 陽子(文教大学)

名誉会員推薦委員会

委員長:臼井 功(前出)

副委員長: 水野谷 剛(前出)

機関誌編集委員会

委員長: 多和田 眞(前出)

副委員長: 松本 昭夫(前出)

浅見 泰司(前出)

木南 章(前出)

Managing Editor: 氷鉋揚四郎(前出)

学会賞選考委員会

委員長: 酒井 泰弘 (前出)

副委員長:水野谷 剛(前出)

学会幹事(会則第 18 条第 6 項)

(1) 事務局幹事

総務・財務・庶務担当常任理事付

内藤 徹(前出)

野崎 乃倫子 (筑波大学)

(2) 委員会幹事

学術委員会

小川 健(専修大学)

名誉会員推薦委員会

黛 陽子(前出)

機関誌編集委員会

小川 健(前出)

内藤 徹(同志社大学)

黛 陽子(前出)

森岡 理紀(畜産草地研究所)

野崎 乃倫子(前出)

学会賞選考委員会

黛 陽子(前出)

森岡 理紀(前出)

広報委員会

小川 健(前出)

内藤 徹(前出)

黛 陽子(前出)

森岡 理紀 (前出)

野崎 乃倫子(前出)

事務局 事務秘書

秋山 春世 (筑波大学生命環境系水野谷研究室)

事務局所在地

筑波大学 生命環境系 水野谷研究室内

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

tel/fax +81-29-853-7221 sec@jsrsai.jp

2. 第 54 回 (2017 年) 年次大会準備委員会及び

実行委員会

委員長: 鐘ヶ江 秀彦(前出)

副委員長:豊田 祐輔(前出)

委員 黒川 清登 (立命館大学)

委員 石橋 健一(前出)

委員 小野 聡 (立命館大学)

委員 崔 明姫 (立命館大学)

3. 学術委員会

委員長: 藪田 雅弘 (前出)

副委員長: 水野谷 剛(前出)

副委員長: 鐘ヶ江 秀彦(前出) 木南 章(前出) 委員 Managing Editor: 氷鉋揚四郎(前出) 櫻井 一宏 (前出) 委員 石橋 健一(前出) 渋澤 博幸(前出) 鈴木 聡士 (前出) 木南 莉莉 (前出) 多和田 眞(前出) 酒井 泰弘(前出) 幹事: 櫻井 一宏 (前出) 小川 健(前出) 渋澤 博幸(前出) 鈴木 聡士 (前出) 4. 広報委員会 高橋 秀悦(前出) 委員長: 水野谷 剛(前出) 徳永 澄憲(前出) 副委員長: 石橋 健一(前出) 戸田 常一(前出) 副委員長: 黛 陽子(前出) 野崎 謙二(前出) 委員 藤岡 明房(前出) 栫井 昌邦(前出)(西部) 細江 守紀(前出) 櫻井 一宏 (前出) 水野谷 剛(前出) 三友 仁志 (前出) 渋澤 博幸(前出)(東部) 松本 昭夫 (前出) 柳原 光芳(前出) 三友 仁志 (前出) 吉田 登(前出) 幹事 鐘ヶ江 秀彦(前出)(規程第3条第6号) 小川 健(前出) 阿部 宏史(前出)(規程第3条第6号) 内藤 徹(前出) 顧問: 黛 陽子 (前出) Peter Batey (University of Liverpool) 森岡 理紀(前出) Tüzin Baycan (Istanbul Tech. Univ.) 野崎 乃倫子(前出) Kingsley Haynes (George Mason Univ.) Geoffrey Hewings (University of Illinois) 5. 名誉会員推薦委員会 Lars Lundqvist (Royal Inst. of Tech.) 委員長:臼井 功(前出) Gordon Mulligan (Univ. of Arizona) Peter Nijkamp (Tinbergen Institute and 副委員長: 水野谷 剛(前出) Adam Mickiewicz Univ.) 委員 David Plane (University of Arizona) 櫻井 一宏 (前出) 渋澤 博幸(前出) Jacques Poot (University of Waikato) 氷鉤 揚四郎 (前出) Roger Stough (George Mason University) 幹事: 幹事: 黛陽子(前出) 小川 健(前出) 内藤 徹(前出) 6. 機関誌編集委員会 黛 陽子 (前出) 森岡 理紀(前出) 委員長: 多和田 眞(前出) 副委員長: 松本 昭夫(前出) 野崎 乃倫子(前出)

浅見 泰司(前出)

7. 学会賞選考委員会

委員長:酒井 泰弘(前出)(第6号) 副委員長:水野谷 剛(前出)(第3号) 委員:

岡村 誠(前出)(第4号)

河野 博忠(前出)(第6号)

櫻井 一宏(前出)(第3号)

渋澤 博幸(前出)(第3号)

高橋 秀悦(前出)(第2号)

多和田 眞(前出)(第4号)

萩原 清子(前出)(第4号)

氷鉋 揚四郎 (前出) (第4号)

藤岡 明房(前出)(第6号)

細江 守紀(前出)(第1号)

松本 昭夫(前出)(第4号)

三友 仁志(前出)(第4号)

薮田 雅弘 (前出) (第5号)

幹事:

黛 陽子(前出)

森岡 理紀 (前出)

8. Council of RSAI and Council of PRSCO

(国際地域学会及び環太平洋地域学大会機構 評議会)

RSAI Council

Councilor (未定)

PRSCO Council

Councilor & Executive Secretary

渋澤 博幸(前出)

Councilor

徳永 澄憲(前出)

細江 守紀 (前出)

宮田 譲(前出)

9. 日本経済学会連合

評議員(日本地域学会選出)

鐘ヶ江 秀彦 (前出)

渋澤 博幸(前出)

「日本経済学会連合 英文年報」への日本地域 学会分の担当係 編集委員: 佐々木 啓介(前出)

執筆担当: 渋澤 博幸(前出)

10. 地理学会連合

担当:

櫻井 一宏(前出)

薮田 雅弘 (前出)

Ⅲ. 第54回日本地域学会年次大会(平成29 年10月6~8日)のご案内

平成 29 年度 (2017 年) 日本地域学会第 54 回年次大会は、立命館大学において下記の通り 開催されます。会員諸賢におかれましては、論文報告、特別セッションの編成等、奮ってご参加下さい。

記

開催日: 平成 29年 10月 6日(金)~8日(日)

開催校: 立命館大学

会場: 立命館大学衣笠キャンパス 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

大会準備委員会: 委員長 鐘ヶ江秀彦 (立命館 大学教授)

セッション:

共通論題

- a) 地域経済·地域雇用
- b) 産業集積・情報
- c) 環境評価 · 環境政策
- d) 地域環境·地球環境
- e) 国際経済政策
- f) 交通・コミュニケーション
- g) 経済分析・モデル分析
- h) 意識分析·行動分析
- i) 地方分権·地方財政·道州制
- j) 持続可能都市・地域システム
- k) 都市再生·地域再生
- 1) 沿岸域管理·海洋政策
- m) ツーリズム
- n) アジア経済

一般論題

立地、人口移動、地域経済等の地域学一般の課題すべて

公開シンポジウム:

テーマ 歴史都市保全と文化財保護政策

以上

論文報告・特別セッション編成の募集

論文報告と特別セッションの編成を希望される方は、下記の事項を明記し、日本地域学会事務局へe-mailで応募して下さい。応募締切は平成29年5月31日(水)です。なお申込書は学会のホームページからダウンロードできます。

[論文報告] 応募の必要事項

- 1. 論文タイトル
- 2. 上記が和文の場合には、同英文訳
- 3. 著者名, 所属(複数の場合には発表者を明記)
- 4. 同上英文表記
- Abstract 和文(700 字以内)および英文
 (200words 以内) の双方を提出
- 6. 対応責任者氏名,連絡先住所, tel, fax, e-mail アドレス等
- 7. 希望討論者 2 名 (会員に限る。必ずしも希望 通りとならないことをあらかじめご承知おき 下さい)

[特別セッション編成] 応募の必要事項

- 1. セッションタイトルおよびセッションの意図, 内容等の概要(和文 300 字以内, 英文 100words 以内)
- 座長(1-2 名の会員) 氏名,所属,同英文 表記
- 3. 1 セッション当たり 3-4 編の報告を目途に、 各論文についての上記論文報告希望に準ずる データ。但し、討論者は各々の論文について 1 名でも可。
- 4. 応募責任者氏名, 連絡先住所, tel, fax, e-mail アドレス等

論文報告等に関する問い合わせおよび応募は,

次の日本地域学会事務局宛にお願いします。 筑波大学生命環境系 水野谷研究室内 日本地域学会事務局 〒305-8572 つくば市天王台 1-1-1 tel, fax: 029-853-7221 メールによる応募: app@jsrsai.jp メールによる問合せ: sec@jsrsai.jp

応募申込書の入手: http://jsrsai.jp/ja/

年次大会の参加申込み

大会および懇親会の参加申込み方法は、次号のニューズレターおよび学会 HP にて公表する予定です。

学会 HP: http://jsrsai.jp/ja/

IV. 総会報告

平成 28 年度総会が、去る平成 28 年 10 月 9 日 13 時 00 分より、第 53 回 (2016 年) 年次大会の会場である新潟大学で開催されました. 氷 鉋会長(筑波大学教授)挨拶の後、同会長を議長として審議および報告が行われました. つづく学会賞授与式では、酒井泰弘委員長からの経過報告の後、氷鉋会長より受賞者に各賞が授与され、総会は無事閉会しました. 当日の次第、審議及び報告の内容は以下の通りです.

- 1. 開会の辞
- 2. 会長挨拶
- 3. 議題
 - 1) 新入会員・退会希望者について

この件について,水野谷総務担当常任理事より新入正会員38名,退会正会員36名及び退会法人会員2団体について報告があり,これを承認.この結果,正会員1,042名,法人会員6団体となった.

2) 名誉会員について

この件について氷鉋会長より Kingsley Haynes 会員が推薦され,これを承認.

この後, Kingsley Haynes 会員に加え,これまで授与の機会が無かった第 10 代名誉会員 Peter Nijkamp 会員及び第 27 代名誉会員 Lay Gibson 会員に記念の盾が授与された。

- 3) 平成27年度の事業報告について この件について水野谷総務担当常任理 事より報告があり、これを承認。
- 4) 平成 27 年度の収支決算について この件について櫻井財務担当常任理事 より報告があった後、栫井監事より監査が 完了している旨報告があり、これを承認.
- 5) 平成29年度の事業計画について この件について水野谷総務担当常任理 事より報告があり、これを承認.
- 6) 平成28年度の収支予算(修正案)について この件について櫻井財務担当常任理事 より報告があり、これを承認.
- 7) 平成 29 年度の収支予算について この件について櫻井財務担当常任理事 より報告があり、これを承認.
- 8) 平成 29・30 年期理事候補者について この件について水野谷総務担当常任理 事より選挙結果報告があり、これを承認.
- 9) 博士論文賞の呼称(田中啓一賞)終了について

この件について,酒井学会賞選考委員長より報告があり,これを承認.

10)第 54 回 (2017 年) 年次大会の開催地, 開催校等について

この件について,水野谷総務担当常任理 事より立命館大学で行うことが報告され, これを承認.この後,立命館大学を代表し て豊田会員が挨拶を行った。

11) 第 55 回 (2018 年) 年次大会の開催地, 開催校等の取り扱いについて

この件について、氷鉋会長より東日本で 候補を選定中であることが報告され、今後 の取り扱いについては事務局に一任する ことを承認. 12) その他

4. 報告

- 1) 『地域学研究(46巻)』の編集について この件について木南(章)編集委員長より 編集経過の報告があった。
- 2) Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について

この件について氷鉋会長より創刊に関わる報告があった。

- 3) RSAI の動向 この件について渋澤庶務担当常任理事よ り報告があった。
- 4) PRSCO の動向 この件について渋澤庶務担当常任理事よ り報告があった.
- 5) その他
- 5. 学会賞授与式
 - 1) 選考経過報告 酒井委員長より学会賞選考委員会におけ る選考経過について説明があった.
 - 2) 第 25 回学会賞授与

氷鉋会長より以下の各賞が授与された.

功績賞:なし

論文賞:福本潤也

奨励賞:沖本まどか

著作賞:三井康壽、木南莉莉, Kingslev E.

Haynes, Zhenhua Chen

学位論文賞 (博士): 松下奈美子

池川真里亜

(修士): 永井慧

H27 最優秀発表賞(第8回): 土屋依子

3) 受賞者挨拶

各賞の代表者による受賞挨拶があった.

- 6. その他
- 7. 閉会の辞

V. 理事会報告

平成 28 年度 日本地域学会 第 11 回理事会(持回り)

日時: 平成 28 年 9 月 6 日(火)17:00

議題 資産評価政策学会主催 平成 28 年度 研 究大会・シンポジウム

「実務家から見た固定資産税制度の問題点」 後援名義使用の件

上記後援名義使用を許可する件につき審議に付 し、承認が得られた。

平成 28 年度 日本地域学会 第 12 回理事会(持回り)

日時: 平成28年9月6日(火)17:00

議題 日本環境共生学会主催 第 19 回学術大 会公開シンポジウム

「大都市圏・東京の廃棄物対策と今後の展望」

後援名義使用の件

上記後援名義使用を許可する件につき審議に付 し、承認が得られた。

平成 28 年度 日本地域学会 第 13 回理事会 日 時: 平成 28 年 10 月 7 日(金) 18:00-19:30 場 所: 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」 講義室 A

出席者:石橋,岡村,木南(莉),國光,近藤,斎藤,佐々木,渋澤,鈴木,徳永,氷鉋,藤岡,細江,水野谷,宮田,柳原の各理事(ただし 浅見,阿部,櫻井,高橋,戸田,萩原,福井,松本,三橋,三友,吉田の各理事より委任状付託;以上理事27名出席);オブザーバとして栫井監事,臼井,河野の各顧問,酒井学会賞選考委員会委員長,木南(章)機関誌編集委員会副委員長,豊田祐輔会員;内田幹事;秋山事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認 水野谷総務担当常任理事より,個人会員(5名) の入会希望と,個人会員(4名)の退会希望が あった旨報告があり、これを審議した結果、総会 に諮る事が諒承された. この結果、正会員 1,042 名、法人会員 6 団体となった.

- 2. 平成28年度第53回年次大会の運営
- 1) 最新版プログラム

水野谷総務担当常任理事より,年次大会のプログラムについて説明があり、これを諒承.

2) 総会式次第

氷鉋会長より総会式次第について説明があり, これを諒承.

平成29·30年期理事候補者名簿

氷鉋会長より,平成 29·30 年期理事候補者名 簿について説明があり,これを諒承.

3. 年次大会次期開催地·開催校

鐘ヶ江理事代理として,豊田祐輔会員より次 回立命館大学の準備状況について報告があり, これを諒承.

4. 年次大会次々期開催地・開催校

水野谷総務担当常任理事より,次々期開催 地・開催校の選出について報告があり,これを諒 承.

- 5. その他
- 1) 資産評価政策学会、公益社団法人都市住宅 学会、公益社団法人日本不動産学会合同シンポ ジウム「テクノロジーの進化はまちと産業に何 をもたらすか?」後援名義使用許可について

氷鉋会長より、上記後援名義使用を許可する 件について説明があり、これを諒承.

報告事項

 平成29年度予算(案)修正 水野谷総務担当常任理事より、平成29年度予

算(案)の修正について報告があった.

2. 平成 28 年度理事会(持ち回り)第 $9\sim12$ 回 氷鉋会長より, 持ち回りによる平成 28 年度理

事会 (第 $9\sim12$ 回) について報告があった.

3. 『地域学研究』第46巻の編集

氷鉋会長より、『地域学研究』46 巻の掲載候補論文の選考結果と刊行進捗状況について報告があった.

4. 『高速道路と自動車』掲載第53回日本地域

学会年次大会原稿執筆料のご寄付について

氷鉋会長より、『高速道路と自動車』掲載原稿 の執筆料を木南莉莉第 53 回年次大会実行委員 長からご寄付頂いたことについて報告があった.

5. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について

水 鉋 会 長 よ り , Asia-Pacific Journal of Regional Science の刊行準備状況について報告があった.

6. RSAI の動向

氷鉋会長より RSAI の動向について報告があった.

7. PRSCO の動向

渋澤庶務担当常任理事より PRSCO の動向について報告があった.

8. その他

平成 28 年度 日本地域学会 第 14 回理事会(持回り)

日時: 平成 28 年 9 月 2 日(水)17:00

議題 資産評価政策学会、公益社団法人都市住 宅学会、公益社団法人日本不動産学会主催

合同シンポジウム 「テクノロジーの進 化はまちと産業に何をもたらすか?」 後援名義使用の件

上記後援名義使用を許可する件につき審議に付 し、承認が得られた。

平成 28 年度 日本地域学会 第 15 回理事会 日 時: 平成 28 年 12 月 25 日(日) 13:00-15:00 場 所: 学術総合センター 2 階会議室 201-202 出席者: 氷鉋,宮田,萩原,水野谷,渋澤,浅見,阿部, 石橋,鐘ヶ江,木南(莉),國光,斎藤,佐々木,鈴木,多 和田,徳永,福井,細江,三橋,柳原,吉田の各理事(た だし,高橋,櫻井,近藤,戸田,中山,藤岡,三友の各理 事より委任状付託; 以上理事 28 名出席);オブザ ーバとして臼井,河野の各顧問,酒井学会賞選考 委員長,野崎 H29・30 年期理事; 内田,古澤の各 幹事; 秋山事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

水野谷総務担当常任理事より,個人会員(8名)の入会希望と個人会員(8名)の退会希望があった旨報告があり、これを審議した結果,総会に諮る事を諒承された。この結果,正会員1,042名,法人会員6団体となった。

2. 第53回年次大会会計報告

木南(莉)理事より年次大会の会計報告について説明があり、これを諒承。

 第 54 回 (2017 年) 年次大会準備委員会の 構成

鐘ヶ江理事より次回年次大会の準備状況について報告があり、これを諒承。

4. Asian-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について

氷鉋会長より新ジャーナル Asian-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)の論文投稿状況および出版準備状況について報告があり、これを諒承。

6. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

める旨提案があり、これを諒承。

氷鉋会長より新入会員勧誘の現状について報告があり,引き続きキャンペーンを進めることが諒承された。

7. その他

1) 臼井名誉会員推薦委員長より名誉会員 推薦委員会において藤岡明房会 員,Antoine Bailly会員及びAmitrajeet A. Batabyal会員の3名を名誉会員に推 薦することが決定した旨報告があり,次 回総会に諮ることが諒承された。

報告事項

1. 平成 28 年度日本地域学会第 14 回理事会(持ち回り)

氷鉋会長より持ち回りによって実施した第14 回理事会に関して報告があった。

2. 第 2 回学会賞優秀発表賞選考委員会・第 3 回学会賞選考委員会報告

酒井委員長より並びに第 2 回学会賞優秀発表 賞選考委員会・第 3 回学会賞選考委員会につい て報告があった。

3. 『地域学研究』第 46 巻および 47 巻の編集 多和田機関誌編集委員長より、『地域学研究』 46 巻および 47 巻の掲載候補論文の選考と刊行 進捗状況についての報告と、第 47 巻より年間の 発行号数を 4 号から 2 号に減らすことを決定し た旨の報告があった。また、紙媒体の印刷中止 について今後継続審議することとなった旨の報 告があった。

4. RSAI の動向

氷鉋会長より RSAI の動向について報告があった。

5. PRSCO の動向

渋澤総務担当常任理事より PRSCO の動向について報告があった。

6. その他

今期限りで退任する氷鉋会長の挨拶と出席者 を代表して河野顧問及び酒井学会賞選考委員長 からの労いの言葉があった。

平成 29 · 30 年期 日本地域学会 新理事会

日 時: 平成 28 年 12 月 25 日(日) 15:00-15:30 場 所: 学術総合センター 2 階 会議室 201-202 出席者: 浅見,阿部,石橋,内田,鐘ヶ江,木南(莉),國光,斎藤,佐々木,渋澤,鈴木,多和田,徳永,野崎,萩原,氷鉋,福井,細江,水野谷,宮田,柳原,吉田の各理事(ただし,近藤,櫻井,高橋,戸田,中山,三友の各理事より委任状付託;以上理事 28 名出席);オブザーバとして臼井,河野,酒井の各顧問;古澤幹事;秋山事務局秘書

報告事項

1. 平成29・30年期 理事会の構成(報告,確認) 水野谷事務局長より平成29・30年期 理事候 補者について報告があった。

議題

1. 平成 29・30 年期 役員人事

酒井,多和田会員より細江会員を会長に推薦 したいとの提案があり,これを諒承。 細江新会長より副会長として萩原会員,高橋 会員,松本会員が推薦され,これを諒承。

細江新会長より総務担当常任理事として水野 谷会員,財務担当常任理事として櫻井会員,庶務 担当常任理事として渋澤会員が指名され,これ を諒承。

細江新会長より企画担当理事として氷鉋会員, APJRS 担当理事として内田会員が推薦され,これを諒承。

細江新会長より監事として<u>
</u>
敷田会員および栫井会員が推薦され、これを諒承。

その他の委員会構成などについては事務局に 一任することが諒承された。

2. 顧問(名誉理事)の推薦、承認

氷鉋前会長より、これまでの学会への貢献を 鑑み、藤岡明房会員及び三橋博巳会員を顧問(名 營理事)に推薦したいとの提案があり、これを諒 承。

3. その他

1) H29 年度会議日程について 4/23(日),7/16(日),10/6(金)(立命館大 学),12/17(日)を候補として事務局が調 整することを諒承。

VI. 委員会報告

1. 優秀発表賞選考委員会

優秀発表賞選考委員会(委員長 酒井泰弘 滋賀大学名誉教授)では、第53回年次大会での発表を対象とした慎重審議により、下記の会員の方々に平成28年度日本地域学会学会賞優秀発表賞を授与する事を決定しました。また優秀発表賞選考委員会での審議は継続しており、今後、今回の優秀発表賞受賞者の中から1名の最優秀発表賞受賞者が決定される予定です。最優秀発表賞の授与式は、本年の年次大会(立命館大学)で執り行われる予定です。

優秀発表賞:

佐々木 翼(北海学園大学)

主題:アライグマによる社会的損失価値の推 計と地域特性

金 承華 (中央大学)

主題:中国における森林保全政策 - 退耕還林 政策の展開と課題

木村 俊平 (東京大学)

主題:農業法人での就業キャリアが独立起業 に与える効果に関する研究

冨田 佳奈 (東京大学)

主題:中山間地における高齢者を対象とした 大豆生産支援による地域振興施策の評価 - 福 島県鮫川村を事例として -

三穂健太(筑波大学)

主題:地球温暖化対策のための最適税政策に 関するシミュレーション分析

Rajeev Kumar SINGH (University of Tsukuba)

主題: Analysis of Policy-Innovation Linkage: Case Study on End-of-Life Vehicle (ELV) Technologies in Japan and EU Jerome Edem ABIEMO (University of Tsukuba)

主題: A Comprehensive Study of the
Negative Externalities of Increased Use of
Chemical Pesticides in Rice Production: A
Case Study of Smallholder Farmers in the
Aveyime Community, Ghana
Benson Senelwa IGESA(Reitaku University)

主題: The Impact of Kenyan Fiscal Policy and Tariff Elimination to the Kenyan Economy

2. 機関誌編集委員会報告

日本地域学会 第55回機関誌編集委員会

日時: 平成28年12月25日(日)11:00-12:00

場所:学術総合センター会議室

出席者:多和田, 浅見, 木南(章), 氷鉋, 木南(莉), 酒井, 渋澤, 徳永, 細江, 水野谷, 吉田, 阿部 の各編集委員(ただし櫻井, 高橋, 戸田, 藤岡, 三友の各委員より委任状付託), 内田, 古澤の各 幹事, 秋山事務局秘書

議題

1) 『地域学研究』第 46 巻, 第 47 巻掲載候補論 文の選考

第53回年次大会の発表論文に対する座長評価 に基づき、掲載候補論文の対象を決定した。

2) 同上機関誌印刷方針

第46巻の発行状況・計画を確認するとともに、 第47巻の印刷方針を決定した。

3) Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS) について

投稿状況、特集号の企画・編集方針、および 出版スケジュールなどを確認した。

4) その他

EM 投稿システム(地域学研究)の設定の一部変更を決定した。

VII. 会費納入のお願い

日本地域学会会員各位

日本地域学会会長 細江 守紀

謹啓 貴会員におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。さて、早速ですが、同封致しました請求書の通り、日本地域学会平成29年度会費をご請求申し上げますので、

納入期限 平成 29 年 3 月末日 までに同封の振込用紙にてお支払いいただけま す様お願い申し上げます。

なお、預金口座引落しの手続きを平成 29 年 3 月 17 日までに完了された方には、平成 29 年 6 月 27 日に請求内容にしたがって引落しを行いますのでお早めに手続きをおとり下さる様お奨め致します。また、学生会員年会費の適用には学生証(写し)の提出が必要ですので、pdf か封書にて、学会事務局までお送りください。

何かと出費のかさむ折から誠に恐縮ですが, 事務処理の円滑化および再度にわたる督促の経 費節減のため上記期限までの早期納入にご協力 いただけますよう,かさねてお願い申し上げます。

敬具

1. 平成 29 年度日本地域学会会費等(適用期間限定)

平成 29 年度(平成 29 年 4 月 1 日-平成 30 年 3 月 31 日)

一般会員年会費 13,000 円

学生会員年会費 8,000 円

但し、これらの会費,購読料が適用されるのは、 a) 納入期限(平成29年3月末日)までに上記 会費を納入された日本地域学会会員の方。

- b) 平成 29 年 3 月 17 日までに預金口座引落し の手続きを完了された日本地域学会会員の方, または,
- c) 4月以降に校費(公費)から支出する事を希望し、納入期限(平成29年3月末日)までにその旨、および支払予定日を事務局に申し出た日本地域学会会員の方、に限りますのでご注意下さい。

2. 会費の期限内納入の特典

上記納入期限に遅れた場合には、会費関連の 事務処理が煩雑となることを考慮して、日本地 域学会理事会では、

1) 一般会員年会費として 14,000 円を請求する 2) 学生会員年会費として 9,000 円を請求する という事を決定致しております。この主旨をご 理解いただき、会費関連の事務処理の円滑化、 経費節減にご協力頂けますよう、事務局からも 重ねてお願い申し上げます。

3. Web 会員

本学会機関誌『地域学研究』の電子ジャーナルを、J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)により発行しております。これにより、会員の研究成果が広く世界に向けて情報発信されております。Web 会員に登録されますと、最新の論文が電子ジャーナル(本文 PDF)として閲覧可能となります。Web 会員登録を希望さ

れる方は、学会のホームページから、電子ジャーナル『地域学研究』個人購買者認証申込書 (Web 個人会員)をダウンロードしていただき、ご記入の上、事務局までお申し込みください。

Web 会員価格(平成29年4月1日-平成30年3月31日)は以下のようになります。

- 1) 学会正会員である個人 (Web 個人会員 A) 年会費 2,000 円
- 2) 学会非会員である個人(Web 個人会員 B)* 年 会費 5,000 円
- 3) 本学会法人会員である団体もしくは機関 (Web 機関会員 A) 年会費 10,000 円
- 4) 本学非会法人会員である団体もしくは機関 (Web 機関会員 B)* 年会費 40,000 円
- * Web 個人会員 B と Web 機関会員 B は、電子 ジャーナル閲覧のみのサービスとなります。
- 4. RSAI (国際地域学会) への会員登録について 平成 23 年度から RSAI (国際地域学会) への 会員登録の方法が変更になっております。従来 より日本地域学会の会員は自動的に RSAI (国際 地域学会)の会員として登録されておりました が, 会員の増加に伴う国際本部事務局の負担を 軽減するため, 会員情報を電子メールアドレス で管理する事になりました。したがいまして今 後は、会費を納入する事に加え、電子メールア ドレスを日本地域学会事務局に登録することが 必要となります。今後も引き続き RSAI (国際地 域学会)の会員となることを希望される会員で、 電子メールアドレスを日本地域学会事務局に登 録されていない方は、会費の納入に合わせて電 子メールアドレスを事務局にお知らせください。 また RSAI への電子メールアドレスの通知に同 意されない方は、日本地域学会事務局にその旨、 お知らせください。

VⅢ.『地域学研究』47 巻以降の発行号数について

去る平成28年12月25日に行われました第55回機関誌編集委員会において第47巻の印刷方針が審議されました結果、これまで各巻4号を発行しておりましたが、第47巻以降、各巻2号の発行とすることが決定されましたのでお知らせ致します。

IX. 国際地域学会関連会議のお知らせ

(1)第25回PRSCO大会(PRSCO 2017) のご案内 第25回PRSCO大会が,台湾の台南市で開催さ れます. PRSCO(Pacific Regional Science Conference Organization)は、日本地域学会が メインとする国際会議です. 最新の研究成果を 発表する場として、広く海外研究者との交流の 場としてご活用いただけます. 会員諸賢におか れましては奮ってご参加ください.

会議名: 25th Pacific Conference of the RSAI (PRSCO 2017)

開催日:2017年5月17日(水)-20日(土)

開催地: Taipei, Tainan

会場: National Cheng Kung University アブストラクト 提出締切: 2017年1月31日 大会ホームペー ジ:

http://www.2017prscocon.com/

PRSCO ホームページ: http://www.prsco.info

(2)PRSCO Award for Best Paper by a Young Regional Scientist のご案内

PRSCO ではアジア太平洋地域の若手研究者の研究活動を奨励するために毎年 Best Paper Award を提供しています.

今回の応募の締め切り は,2017年2月28日です.

詳しくは、PRSCO のホームページ をご覧ください.

http://www.prsco.info/PRSCOAwards.html

X. 学会賞候補者推薦の募集

日本地域学会では、地域科学 (Regional Science) の発展に貢献する優れた会員の業績をたたえる為、日本地域学会学会賞を毎年授与しています。今年度も第26回日本地域学会学会賞授賞選考候補者の推薦の募集を行いますので、どうか奮ってご応募下さい。学会賞は以下の各賞からなります。

功績賞: 地域科学の進歩および学会の運営に顕 著な貢献をなした会員を表彰する。

論文賞: すぐれた研究論文によって地域科学の 発展に著しく寄与し、研究業績の意義や 貢献が多大である会員を表彰する。

奨励賞: 若手研究者ですぐれた研究論文を発表 した会員を表彰する。

著作賞: 地域科学の発展に著しく寄与し, その 意義や貢献が多大である著作物を表彰す る。

学位論文賞:本学会会員である博士または修士 課程修了者がその修了要件として提出し たすぐれた学位論文を表彰する。

優秀発表賞: 年次大会においてすぐれた論文発表を行った会員に優秀発表賞を授与する。 このうち最も優秀な論文発表を行った会員に最優秀発表賞を授与する。

功績賞・論文賞・奨励賞・最優秀発表賞受賞 者には賞状とメダルが、著作賞・学位論文賞・ 優秀発表賞受賞者には賞状が授与されます。

第 26 回日本地域学会学会賞 授賞選考候補者推 薦応募要領

◇応募期限:

1) 功績賞・論文賞・奨励賞・著作賞・学位論文 當

平成29年4月3日(月)(事務局必着)

2) 優秀発表賞

平成 29 年 5 月 31 日 (水) (年次大会発表申 し込みと同時,事務局必着) ◇応募方法: 功績賞への応募は他薦のみ、優秀 発表賞への応募は自薦のみですが、その他への 応募は自薦、他薦を問いません。専用の応募用 紙を事務局に提出して下さい。

◇推薦資格:推薦者は、日本地域学会会員であることが必要です。

◇受賞資格等:

1) 論文賞および奨励賞の表彰対象となる研究 業績は,過去2 年間(暦年) に発表したもので, その主たるものが本学会関連誌『地域学研究

(Studies in Regional Science)』および Papers in Regional Science of the RSAI に掲載されている論文であることが条件です。

- 2) 奨励賞の応募については、年齢がその表彰対象となるべき主たる研究業績の発表当時 35 才未満であった事が必要です。
- 3) 著作賞の表彰対象となる著作物については、 過去2年以内に出版もしくは公表された研究図 書であることが条件です。
- 4) 学位論文賞については、表彰の時点において 修了後3年以内のもので、当該学位論文に関連 した学術論文を本学会の学術セッションで発表 しているか、または本学会機関誌『地域学研究』 あるいはこれに準ずる専門誌に掲載または掲載 可として受理されていることが条件となります。 なお、年齢による制限はありません。
- 5) 優秀発表賞については、以下のいずれかである必要があります。①授賞対象となる論文発表の年度末において 30 歳以下である会員、②授賞対象となる論文発表時において大学院に在籍する会員、③年次大会の Early-bird Session(アーリー・バードセッション)で発表する会員であり、理事会がその表彰を適当と認めた会員。更にいずれの場合も、対象となる論文の第一著者であり、かつ年次大会当日に口頭発表を行う本人である必要があります。

◇選考方法: 「日本地域学会学会賞(奨励賞・ 論文賞・功績賞)に関する規程」,「日本地域学 会著作賞に関する規程」,「日本地域学会学会賞 学位論文賞規程」,「日本地域学会学会賞優秀発 表賞規程」に基づく選考委員会の審議による。 決定次第,受賞者には連絡します。

◇授賞式: 第54回年次大会における総会(平成29年10月 立命館大学)にて執り行います。最優秀発表賞については、翌年の年次大会で執り行います。

◇応募用紙の請求:日本地域学会事務局まで賞の種別を明記してご請求下さい。優秀発表賞については、年次大会発表申込用紙中に応募欄があります。

XI. 会員の移動

新入会員

正会員 44名

Amitrajeet Amarnath Batabyal (Arthur J.

Gosnell Professor of Economics, Rochester Institute of Technology)

Antoine Sylvain Bailly (Honorary Professor, University of Geneva)

Arifur Md Rahman(立命館大学大学院経済学研究 科博士後期課程学生)

Davaa jargal Gan-Ochir (筑波大学大学院生命環境科学研究科学生)

Dinesharachchige Anura Kumara Amaradewa(筑波大学大学院生命環境科学研究科学生)

Ernest Ohene Nkansah (筑波大学大学院生命環境科学研究科学生)

Jerom Edem Abiemo(筑波大学大学院生命環境科学研究科学生)

Joarder MD Shafikuzzaman(Student, College of Agriculture, Ibaraki University)

Karim Md Rezaul(筑波大学大学院生命環境科学研究科学生)

Kingsley E. Haynes (Dean Emeritus, School of Policy, Government and International Affairs, George Mason University)

LI Zhaoling(筑波大学大学院生命環境科学研究 科学生(博士) Outhevy Vongmany (筑波大学 生命環境科学研究 科 博士後期課程)

Shuning Chen(京都大学農学研究科博士課程学生)

Swapna Begum(筑波大学大学院生命環境科学研究科学生)

Tin Min Htoo(筑波大学大学院生命環境科学研究 科学生)

Zhu Yucheng(筑波大学大学院生命環境科学研究 科学生(博士))

石川 路子(甲南大学経済学部 教授)

井上 夕葵(立命館大学大学院政策科学研究科 博士後期課程学生)

今永 典秀(岐阜大学地域協学センター特任助 教)

上田 達己(国立研究開発法人農業・食品産業技 術総合研究機構 農村工学研究部門 地域資源 工学研究領域 資源評価ユニット 上級研究員)

岡田 穣(専修大学商学部准教授)

加藤 好雄(福知山公立大学地域経営学部) 木村 俊平(東京大学大学院農学生命科学研究 科学生)

許 要倩(名古屋産業大学環境マネジメント研 究科博士課程)

金 承華(中央大学大学院経済学研究科学生) 栗岡 理子(法政大学大学院経済学研究科博士 後期課程学生)

栗原 真維(筑波大学大学院生命環境科学研究 科学生)

胡 唯真(名古屋大学大学院経済学研究科博士課程学生)

佐々木 翼(北海学園大学大学院工学研究科修 士課程学生)

澤井 伊織(愛知大学大学院)

塩野 真美(近畿大学大学院農学研究科博士課程学生)

白井 正敏(中京大学経済学部 教授) 寺西 たから(東京大学大学院新領域創成科学 研究科博士課程学生) 富田 佳奈(東京大学大学院農学生命科学研究 科学生)

長宗 武司(岡山大学大学院社会文化科学研究 科博士前期課程学生)

中山 拓(名古屋大学大学院経済学研究科学生) 芳賀 普隆(長崎県立大学地域創造学部実践経 済学科)

白 素香(京都大学農学研究科博士課程学生) 服部 孝政(立命館大学経済学部学生)

武 褘(筑波大学大学院生命環境科学研究科学 生)

堀後 達紀(龍谷大学国際文化学研究科大学院 生)

山岸 実奈(筑波大学大学院生命環境科学研究 科学生)

山中 知彦(新潟県立大学国際地域学部教授) 吉田 友紀(九州大学経済学研究院助教)

退会会員

正会員 41名

Duong Thuy Pham

Hasan Odilovich Boboev

Lenggogheni

石田 三樹

石田 祐

氏家 晃仁

上井 啓太

菊池 正佳

蔵下 勝行

黒田 彰三 呉 文超

佐藤 秀樹

宍戸 駿太郎

渋田 英敏

朱 美華

宋 俊年

高橋 功

高橋 尚人

田代 藍

建井 順子

谷川 徹

張 江瑶

陳 璇

中内 寛

中村 治

仲本 博重

中山 望

西村 貢

波多野 進

廣松 毅

福地 和夫

福地 崇生

藤田 昌久

朴 善華

町 ゆかり

松行 彬子

柳田 俊治

山田 浩之

油浅 耕三

卢 克宇

渡辺 公次郎

退会法人会員

2 団体

株式会社 パワープロパティ

総務省 情報通信政策研究所 調査研究部

会員数

個人会員 1042 名

法人会員 6 団体

『地域学研究』バックナンバー/ 定期講読申込書

宛先: 筑波大学生命環境系氷鉋研究室内 〒 305-8572 つくば市天王台 1-1-1 tel +81-29-853-7221 (fax)

H	本地域学会!	事務局	御中

□ 日本地域学会機関誌の定期講読を申込ます (16,000 円/年)。(PRINT ISSN: 0287-6256)

□下記のとおり、日本地域学会機関誌のバックナンバーを申込ます。

平成 年 月 日 氏名: 印

所 属: 住所:

電話, fax:

E-mail:

記念事業セット販売					 *						
フルセット: 『地域学会年報(450,000円										
セミセット: 『地域学研究(第1	400,000円										
	小計	円									
『地域学会年報』(第1-6号)											
1号10,300円	2号10,3			3号10,300円							
4号10,300円	5号 10,3			6号 10,300円							
,	『地域学研究』	(第1-19巻)	•	,	•						
第1巻 8,000円	第2巻	8,000円		第3巻 8,000円							
第4巻 8,000円	第5巻	8,000円		第6巻 8,000円							
第7巻 8,000円	第8巻	8,000円		第9巻 8,000円							
第10巻 8,000円	第11巻			第12巻 10,000円							
第13巻 8,000円	第14巻	8,000円		第15巻 10,000円							
第16巻 8,000円	第17巻	10,000円		第18巻 10,000円							
第19巻 9,400円											
	『地域学研究』(第20)-28巻) no.1,no.2									
第20巻no.1 9,000円	第20巻				000円						
第21巻no.2 3,500円	第22巻			第22巻no.2 3,500円							
第23巻no.1 10,000円	第23巻			第24巻no.1 10,000円							
第24巻no.2 3,500円	第25巻			第25巻no.2 3,500円							
第26巻no.1 10,000円	第26巻				000円						
第27巻no.2 3,500円	第28巻			第28巻no.2 3,5	00円						
	地域学研究』(第29章										
第29巻no.1 7,000円	第29巻	· ·		第29巻no.3 7,000円							
第30巻no.1 7,000円	第30巻				00円						
第31巻no.1 7,000円	第31巻				00円						
第32巻no.1 7,000円	第32巻	·		第32巻no.3 7,000円							
第33巻no.1 7,000円	第33巻				00円						
第34巻no.1 7,000円	第34巻			第34巻no.3 7,000円							
	第35巻-)/ボリュー										
第35巻 no.1	第35巻 no.2		巻 no.3	第35巻 no.							
第36巻 no.1	第36巻 no.2		巻 no.3	第36巻 no.							
第37巻 no.1	第37巻 no. 2		巻 no.3	第37巻 no.							
第38巻 no.1	第38巻 no.2		巻 no.3	第38巻 no.							
第39巻 no.1	第39巻 no. 2		巻 no.3	第39巻 no.							
第40巻 no.1	第40巻 no.2		巻 no.3	第40巻 no.							
第41巻 no.1	第41巻 no.2		巻 no.3	第41巻 no.							
第42巻 no.1	第42巻 no. 2		巻 no.3	第42巻 no.							
第43巻 no.1	第43巻 no. 2		巻 no.3	第43巻 no.							
第44巻 no.1	第44巻 no.2		巻 no.3	第44巻 no.							
第45巻 no.1	第45巻 no.2	第45	巻 no.3	第45巻 no.	. 4						

購入総額合計

Щ

機関購入の場合は、氏名、所属に見積り、納品、請求書宛名機関名等を記入、責任者押印 以上 平成 28 年 4 月1 日改定

[※] 申込該当箇所に○をする。□にはチェックする。

日本地域学会 正会員 入会申込書

20 年 月 日

日本地域学会 会長 細江 守紀 殿

日本地域学会 会則第5条に定める正会員として下記の通り入会を申し込みます。

氏名	:	戶

記

ふ	りがな								年	月	日生	歳	※男	· 女	
								同英文	(last name,						
且	名														
								<u> </u>							
								同英文							
	機関名														
					(年 月	月より)								
								同英文							
所	所 属														
	啦友							同英文							
属	職名	₹						同英文							
44-								門央人							
先	所在地														
		<u></u> 電話:	()			1	fax:	()			
	e-mail	电面・	(/				iax.			,			
	C-IIIaII	<u> </u>	-m²1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· \•/#-1	75 H	5 A								
		Ŧ	酉己	送希望先	※ 勤	務先・!	目毛	同英文							
自	住 所														
宅		電話:	- 1)				fax:)			
	e-mail	电前	()				iax.)			
274		□ → »/		1											
学		月入学 日※充業。	・修了・満期	11日24											
歴			「修」「何为	地子											
	年	月													
職	年	年 月													
歴	年	月													
/IE															
	年	月 													
	亩水.							学法 .							⇒)
	専攻:							学位:			(大	1)
専		Reg	ional Science	Associat	ion Inter	rnational	l (RSAI)	の研究領域	或分類(複	数回答	可,入会	全案内参照	照)		
門	1 ICCLIE	SSUE ODIENTATION						II. THEO	RETICAL/	METHC	D-				
分	I. ISSUE ORIENTATION							LOGICAL ORIENTATION							
野															
III. MODE OF ANALYSIS					IV. REGIONAL FOCUS										
所属他学会															
	勿心耂														
	紹介者 st員に限る)														印
(7	以に気の														
以上(※は該当項目に○をする)															

事務局記入欄 入会承認 年 月 日第 回理事会 退会承認 年 月 日第 回理事会